

学校法人東京歯科大学における ICT を活用した教育の基本方針

令和 4 (2022) 年 9 月

Society 5.0 で実現する社会は、IoT (Internet of Things) ですべての人とモノがつながり、さまざまな知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、これまでの課題や困難を克服する。社会の変革 (イノベーション) を通じて、これまでの閉塞感を打破し、希望の持てる社会、世代を超えて互いに尊重し合える社会、ひとりひとりが快適で活躍できる社会である。

本法人は法人が設置する東京歯科大学及び東京歯科大学短期大学において、Society5.0 で実現する社会を見据え、これに貢献できる人材養成の観点から、ICT を活用した教育の基本方針を策定する。

東京歯科大学及び東京歯科大学短期大学は、それぞれに定めるカリキュラムポリシーに則り、これまでに作成してきた ICT を活用した豊富な教育コンテンツを活用して、学生への教育支援、教員に対する授業支援や授業改善に向けた支援を積極的に推進する。

【ICT 環境整備に関する基本計画】

本法人では、学内ほぼすべての場所でネットワークが利用できるよう学術系情報ネットワーク (以降 TDC Net という) を整備し拡張してきた。TDC Net は情報システム管理委員会および情報システム管理室において、通信機器やアカウントの一元管理を行っており、情報セキュリティに配慮して、学内外からのアクセスについてはクラウドオンラインストレージを利用したシステムとなっている。また、ネットワーク認証を必要とする無線ネットワークを整備しており、全ての教室、講義室等で TDC Net を利用することが出来る。

本法人における教育の ICT 化への取り組みは早い段階から実行されており、各種システムの更新時期が順次到来している。今後の高等教育における情報システムの更新は、単なる新しい機器のリプレイスではなく、DX の概念をもちシステム刷新を推進することとする。

<今後の具体的計画>

1. 臨床基礎実習室改修
2. 双方向性授業展開のためのクリッカーシステムリプレイス
3. 無線ネットワーク通信機器のリプレイス及び高速化
4. インターネット上流回線の高速化

【情報セキュリティ対応に関する基本計画】

情報セキュリティに関する教育・研修として、学生を対象とした座学及びオンライン講座による情報セキュリティ・コンプライアンス教育を実施している。また、新入教職員を対象とした座学の情報セキュリティ研修、並びにオンライン学習支援システムを活用したオンライン講座の提供を行っている。

情報セキュリティ・コンプライアンス教育は、継続実施していくことが重要である。昨今のインターネットでは標的型コンピュータウイルス感染被害が多く報告されており、ウイルス感染しないための対策ソフトの導入や知識の獲得に重点を置いた研修会を FD,SD として定期的に開催する。

【技術的支援体制に関する基本計画】

今般の新型コロナウイルス拡大により、高等教育の現場においては ICT を活用した遠隔授業などの対応のレベルにより、教育の質に大きな影響を与えることとなった。

東京歯科大学及び東京歯科大学短期大学の教育における技術支援については、継続的に情報システム委員会および情報システム管理室がこの任に当たる。

<具体的な支援内容>

1. 『TDC Net 利用ガイド』の発行
2. TDC Net の管理・運営
3. Google Workspace 、 Zoom Meetings の利用支援

【教育支援体制に関する基本計画】

東京歯科大学においては、平成 17 年度 (2005 年度) 文部科学省特色ある教育支援プログラム (特色 GP) 及び現代的教育ニーズ取り組み支援プログラム (現代 GP) に歯科大学としては初めて採択されたことを受けて、歯学教育における教育法の研究・開発を目的とした「歯科医学教育開発センター」を発足させた。同センターでは、教育方法の検討・開発を東京歯科大学教務部と連携しながら長い間行ってきた実績がある。

歯科医学教育開発センターをコアとして、東京歯科大学教務部・学生部、東京歯科大学短期大学教学部が連携して教育支援を行う。

<教員支援>

1. オンライン授業の運営・管理
2. 配信用スタジオの運営・管理
3. 授業方法、授業改善に向けた FD の実施

<学生支援>

1. 大学推奨ノート PC の選択、修理他サポート
2. TDC Net 接続設定支援